

かかしのまちの ミニ・マガジン

月刊 Monthly Local Magazine : Kaminoyama

かみのやま

第297号 2026年1月

迎春



「上山城」からのたより 正月 第198便
上 山 城

わが町再見『藤井松平』⑦ 松平信行(3)
鎌 上 宏

◆連載◆ 猫と歩けば 53
うめつ とぎり

描いていく、生きていく 28
朝 日 迎

短歌隨筆 33 思ひ出の港
新 寺 登

わが述懐 思えば遠く来たもんだ (17)
中野 尚

日本ビクター製・蓄音器の思い出
桜井 和敏

◆連載◆ 四国遍路こぼれ話 (16)
大貫 和春

ぶらぶらスケッチ日記 第11回
竹内 敏夫

「狸森物語」一戦後八十年の山村一を綴って
佐藤 藤三郎

わが町再見『藤井松平』⑦松平信行(3)藩校「天舎館」「明新館」開講

鎌 上 宏
(水岸山観音寺住職)

シニアの方大歓迎!

カラオケ開放 11:00~16:00
持ち込みOK! (酒以外)
歌い放題 お一人様 ¥1,000
◇3人以上でお申し込みください。
◇定休日:月曜日

“熊ラーメン” おぐにのマタギ

上山市新湯2-19
サガ・ソシアルビル2F
TEL. 090-2950-2791

美咲花咲めパーキング
かみのやま温泉駅東口
とても便利ですよ!!
タイムズモビリティのカーシェアリングあります。 鈴木
673-1895[鈴木]

こんな困りごと
ありませんか?



宝石・メガネ・時計

タニ工

上山市石崎2丁目1番33号
023-672-0364
携帯:080-3330-6973

で聖廟を合祀し新規御經營となつた教育は全く礼儀の始まりをなす國の基となるゆえで、幕府からの御朱印状の守護を藩府ではなく藩校で保管奉戴することとなつた。一同は尊崇挾手の札を取り、又、謙遜の礼儀正しく、学ぶ同士の益友を選び身の為になることを第一にし、学びが飾りにならぬようにするべきである。一、古聖賢の故事を実用に引き当てて工夫、修行第一にすること。一、世間の毀譽にかかわらず初志を忘れないこと。一、天下の身分、長幼の序、民を治める者は徳を弁えつつ

「広福寺」を紹介しましたが再掲します。西山の麓に南北に走る古往還があつて、お城の門（西の土門）はその道に通じそこに広福寺がありました。松平信行侯は、大坂加賀の折りに北野天満宮の神木をいただきあらためて御神体を彫らせ天満社に納め奉りました。それが古刹（下三九七）の真言宗広福寺です。天満天神は菅原道真公を祀る学問社なので新しく開校する藩校には最適とされたのでしょう。

古記に天神丁広福寺に「信行侯、文化六（一八〇九）7月28日に学問所を広福寺精舎に仮設し天舎館と名づく。置賜郡高畠織田氏の儒臣、武田龍を聘して賓師となす」とあります。退任時に終身金を下賜し、続いて教授を米沢藩士服部世経

にあたらせました。その藩士は上杉治憲（鷹山）侯の師となる細井平洲の門人です。松平信行侯は、家臣増戸武兵衛の師の武田孫兵衛（龍）を招き、教科書は古注の經書、伊藤仁斎、荻生徂徠の説に基づいて授業したとあります。

信行侯は、増戸武兵衛がついて学んでいた儒者を招いたこと、儒者らは米沢藩の藩政改革を行った上杉鷹山侯の師細井平洲の門人だつたこと、教授退任の折は年金を授与し、教えは古学、折衷学派だったことです。何故山形から來る儒者ではなかつたのかを考えるのもおもしろいことです。當時、藩の家臣は独自に他藩の儒者について学んでいたことが分かり、それも幕閣老中松平定信や、藩家老の金子萬嶽が学んだ御用学の朱子学でなく、傍系の古学、折衷学だつたことです。

天保十一（一八四〇）年になると独自校舍明新館を仲丁に開設しました。（校名、教授内容の朱子学への変更は林大学頭の命によるということです。最初の藩校天舎館を開校した信行侯は教師を敬い、厳しい藩財政のなかで年金を授与、藩境まで師を見送つたのです。信行侯の学問尊重の立場が明瞭です。ここに校訓、理念を考察いたしますが、「文政以前の学事に関する文書類は伝わらず、今詳細を知ることが出来ない」（「市史」）とあって天舎館のことが詳かではないので、後の嘉永元（一八四八）年「明新館内規定」を見るにします。それは次のように定められています。

「一、学問所（藩校）は各別のお取りはからいがあり、多く経費が節約される中で、その学問から忠川湖開拓など殖産興業策・御政道への提言、また近代医学の確立など多方面への学びを身につける人々が輩出されたのです。当然、直下の藩内課題の改善、施策の歪みも正されていったのは言うまでもありません。

各々の長所を伸ばし是非得失相互を思慮考究すべきこと」（以下略）。ここには藩主・藩府保管の封地宛行状は藩校が管理することとなつたこと、藩校の学生は民を治める徳を修得するということが重々しく規定されています。



現山形県立明新館高校、校長室前「明新館内規定」掲額

〔参考文献〕『市史・上』、市史資料『御伝記』①、『町史・郷土史』⑫、『上山小学校創立一見聞随筆』⑯、『上山小学校創立90周年記念』⑰、『木村昭著』⑱、『ある人物』⑲、『上山人物記』⑳、『上山市教育委員会』他。

猫と歩けば……

53

ラ め フ パ ち き り

○月△日

数ヶ月前に、姪からメールで送られてきた動画、AI猫にやんこちん。これを見て癒されているのでオバチャンも見てみて、とのことだった。

AIと付いただけで、頭の一部から拒絶感が噴出する昭和脳の私だけど、猫の動画となれば「まあいいか」と甘々になる。

にやんこちんを見て、すぐに虜になった。

茶トラの幼い猫がバイトをしながら一人暮らしをしている。三輪車に乗る。携帯電話を持っている。よく食べる。よく笑う。お給金をもらつてもすぐに使うので、いつもサイフは空っぽ。気ままに生きているにやんこちんが可愛くて、全ての動画を一気に見てしまった。その中でいちばんの傑作が、にやんこちんが氷水を食べ、下痢腹になり病院に行くやつ。ストレッチャーで運ばれエコーとMRIの検査を受け、お医者さんから「お腹の冷え」と診断される。ベージュの腹巻をつけさせられるのだけど気にいらない。ピンクに白い水玉模様の腹



卷が欲しくなり、そのためにバイトをして手に入れるという話。
にやんこちんは病院に運ばれているというのに、全く不安気なく笑っている。下痢の辛い症状にも捉われず、ピンクの腹巻に心の焦点を移行させバイトに出かけれる、という精神と肉体の離れわざを行なう。これにより不快からの脱却に成功してるんだ。自分の身に起きたアクシデントを、自由自在な心の動きで楽しさに変えてしまえるって何て素敵なんだろう。
にやんこちんは『色即是空 空即是色』を実践する禅の修行僧。AI猫じやなくて『般若心経猫』だと思うよ。

○月△日

やさしさって何なんだろう。やさしさという言葉にこだわり出してから、もう既に四十年以上は経っている。こだわりのきっかけは父との会話だ。細かいところは覚えていない。

私は父の何らかの行動に対し「お父ちゃんは、やさしくない」といったのだ。父は「お前にとつてのやさしさとは、どうしたことなんだ? 私のやさしくないところを、具体的に説明してくれ」といつてきた。私は、あ?あ、自分分の娘にまで学校の先生やるんだもんなん? もろに国語教師やつてます、だよな? つて。ちょっとふてくされて、父の質問には「しばらく考えてみる」とだけ応えた。
滅多に話すことのない父の言葉は、いつまでも引っか

かつていて『やさしさとは何か?』に呪いがかけられたまま燐っている。

皮膚感覺のやさしさや、物を取扱う時のやさしさは分かりやすいんだけどね。人と人、心と心の交流の中で、やさしくあることは、どうしたらいいんだろう。

目の前にいる困っている人を、手助けすることがやさしさだとは思わない。人を傷つけないよう気に遣うことがやさしさ? そんな軽いものじゃないよ。

父のやさしさの定義を聞いておかげよかつた: 考えても、考えても、深過ぎて実体が見えてこないのだ。もしかしたら、私たちが意識していないところで、こつそりと作用しているのがやさしさの原初なのかもしれない。

父からの宿題は難しい。私はいつまで『やさしさ』を考え続けるんだろう?

昭和の本箱 まちライブラリー

けやきの家
今年度の営業は終了致しました。
ご利用、ありがとうございました。
感謝申し上げます。
2026年度の営業開始は4月11日となります。

□オープニングイベント……
4月11日、12日ユニークあるほなつきをお招きしてのワークショップです。
ご期待ください。

Wi-Fi P 3台
上山市八日町(青山医院の北)
詳細は……けやきの家まで
080-1394-5853

第59回茂吉忌合同歌会
開催: 2026/2/22(日)
投稿締切: 2026/1/16必着
※詳細はお問合せください

特別展 斎藤茂吉とふるさと -みちのく界隈-
会期: 2026/3/31まで
※詳細お問合せください

休館: 水曜日
斎藤茂吉記念館(北町字弁天
672-7227)

会期延長! 企画展「初開催から90周年記念 かみのやま競馬関係資料展」

■概要 上山競馬場にまつわる懐かしい品を展示

■会期 令和8年1月12日(月)まで
[12月29~31日・元旦以外の毎週木曜休館]

■料金 上山城入館料
★会場・問合: 上山城TEL673-3660

お問合せ
上山城
上山市元城内 023-673-3660

連載 エッセイ 描いていく、生きていく

28 朝日 連

二十八回だつて。なんだかんだ間もなく三十回だね。ああ、でも三〇〇号でこの冊子は終わるのか。（あれ、これつてもう公表されたんでしたっけ？）されてるよね（…？）ということは、このエッセイは二十九回が最後ですね。僕も来年二十九歳。二年後は三十路。なんか、いいですね。

青森に住む友人A子が、「周りが結婚ラッシュで大変」とこぼしていたのを、少し前まで「そうかー」とぼんやり聞いていた。自分の周りには結婚した人もしそうな人もいなかつたからだ。それが最近、同じ年の従姉妹が結婚して。弟が結婚することになつて。両家顔合わせとかに出席しちゃつて。

めでたいなあとは思う。よかつたね、と思える。でもイマイチその幸せがピンとこない。A子はきっと「わかるわー」と言ってくれるに違いない。職場の女の子たちに「そういう人にまだ出会つてないからですよ」とか言われる。うわ、ドラマとかで出てくるセリフだ、と思った。じゃあ、あなたは出会つたわけですか？ でも未婚なんだね？ なんて意地悪は言わないけどさ。そりやね、この先判らないよ、そう思える人ができるかもしれない。結婚という制度も、選択肢に入れることもあるかもしれないよね。その時に一緒に生きたいと思えた相手が結婚できる性別ならね。でも、そうでもそうでないよ。

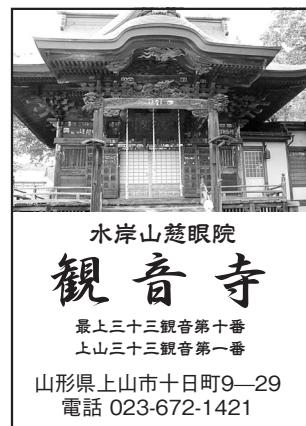
めでたいなあとは思う。よかつたね、と思える。でもイマイチその幸せがピンとこない。A子はきっと「わかるわー」と言ってくれるに違いない。職場の女の子たちに「…それって、突っ込んだ方がいいやつですか？」
「え、びっくりした誰も反応してくれないかと思った」がいいやつですか？」
「え、びっくりした誰も反応してくれないかと思った」

振りが雑すぎやしないか、と笑つた。（あ、同僚たち皆歳近いし仲も良いですよ。）普通に答えるのもなんだかちょっと癪な気がしたので、
「ん〜、ああ、この前、指輪を捨てたりとかはしましたよ」と答えた。そして予想通りの同僚たちの反応。
「朝日さん彼氏いたんですねか？！」
あー… そうか、「世の中的に」はそうか、そうだった。もういいか。
「いや、私、恋愛対象男性じやな

いんぐ。指輪渡して受け取つてもらつた女の子に振られたんで、そろそろ手放そとかなと思つて。」きっと「大丈夫な」人たちだから、もういいや。

月刊かみのやまでの連載もあと二回だから。万が一、僕のエッセイをずっと読んでくれている変わり者の読者がいて、万が一僕の性格はなんだろうとモヤモヤしている素敵な感性をお持ちの方が今もこれを読んでくれているならば、そもそも答え合わせをしてもいいかも知れない。

誕生日ケーキはいつの間にかシヨートケーキになつたのでロウソクは刺さなくなつたし、代わりに焼肉をご馳走になれば主役の私は胃もたれを起こしてその場で吐いたし、一緒に食べた祖母の方が元気だつた。三十の時はホールケーキを買ってきつちり三〇本口ウソク灯してみようかな。いつも燃やしてみようかケーキ。きっと僕の友人たちは喜んで一緒に燃えるケーキを囲んでくれる。そんな大らなさでずっと笑える人たちがいる。それが僕の今の一番の幸せ。



吉井内科胃腸科 クリニック

診療時間【木曜日休診】
月・火・水・金・土
A.M. 8:30 - 12:00
P.M. 2:00 - 6:00
但し、土曜日の診療は4:00迄

院長 吉井英一
023-673-7515
上山市金生東一丁目10-15

成人写真前撮り キャンペーン！

1月撮影2,000円
2月撮影1,000円

合計金額より割引します

高橋写真館

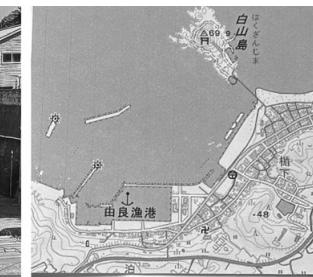
SINCE 1888 TAKAHASHI PHOTO STUDIO
TEL 023-672-0541 完全予約制
営業時間 9:00~18:00(日祭日17:00)
mail: info@takahashi-photo.net
上山市十日町8-5 定休日:火曜日

思ひ出の港

新寺 登
(上山中部短歌会会員)

務めていた銀行の三瀬支店に四年間勤務したことがある。テリトリーは鶴岡市南部から旧温海町に渡り、毎日七号線を走っていた。

この夏、無性に漁港の絵を描きたくなり暮坪漁港へ行くことにした。温海の町の三キロほど手前で、立岩という奇岩がある所である。小さな舟しか入れない鄙びた漁港で何とも言えない寂しさが感じられ、前々から絵にしたいと思っていた所である。(七号線からはほんの一部しか見えない。)旧道から港に着くと運河のように細い港で石垣の上に海風に晒され色褪せた家が並んでいる。想



像した通りの漁港だった。七月の光に海の青色が冴え渡る。そこへ老人の操る一艘の小舟が帰つて来た。誰もいない港でひとり黙々と網や浮子の片づけを始めた。漁師は常に死と隣り合わせで漁も捕れるかどうかかも分からぬ。どんな気持ちで生活をしているのだろうか。陽に焼けた老人の顔に圧倒された。この時、「老人と海」のサンチャゴ老人と目の前の老人が重なった。今にも老人の友達の「少年」が駆け寄つてくるような気がして岸壁にしばし佇んだ。

帰港せる舟の漁師の孤高なり

ヘミングウェイの『老人』のごとく(登)

カリブ海の海の色はきっと青いのだろう。

港の山際の羽越線を電車が走つて行った。貨物列車が走るのを見るのはしばらくぶりである。絵にするため一通り写真に収めると港を後にして堅苦沢漁港に立ち寄つた。ここには「喜波らし亭」と「雷亭」という旅館があつた。

たが今は見る影もなく寂しい港になつていた。ここからたが今は見る影もなく寂しい港になつっていた。ここから三瀬に向かい琴平荘の前を通り由良港へ向かう。

由良港は一番多く釣りに来た所である。短い竿でシノコダイ(黒鯛の一年もの)を釣るのである。型は十センチ位でも引きはけつこう強く竿がUの字になる。私の指定席だった造船所の脇の岸壁に佇むと、当たりが来た時のビビッとした手の感触が懐かしく思い出された。

船の絵も描きたいので網の整理をしていた船主と思われる人にことわり写真を撮つた。すると「内陸の人か」と問われた。言葉ですぐ分るのである。「おれの家内も内陸だ」と言う。急に親近感が湧きしばらく話した。なんでも奥さんは高畠の人でスキーバധイビングに由

良へ毎年來ていたらしく、その時知り合つたということである。

当時お世話になつた「仁三郎」の主人は元気か尋ねたところ今も達者との事である。主人は鱈の定置網の網元で旅館も営んでおり、当時開発中の波力発電事業にも協力していた。また三瀬の海岸近くにスナックもやつていた。店の名はなんと「うろこ」であった。スナックと言えば由良にも一件あつたが名前は忘れてしまつた。

鱈漁の仁豊丸の網元は

今も元気と漁師が答ふ

(登)

これまで絵は山と花しか書いたことがなかつたが初めて港を描き上山文化祭に出品することが出来た。

ナチュラルベーシックが好き

ソフィア SOPHIA
tel&fax. 023-673-0517
上山市南町2-7

泡エステで10歳、若返りませんか!

ムース♥デコ

♡ニキビ・美白・リフトアップ
吹き出物 ♡毛穴の黒ずみ

♡シミ・小じわ ♡手の荒れ

♡アトピーなど 特許取得
原点に戻った新発想
他店にはないメニュー!

アライ美容院
ご予約:673-3002

すばら

上山市金生東二丁目
023-673-3103

わが述懐・思えば遠く来たもんだ (17)

中野尚
(東京在住 上山市出身)

ある日、店の片隅にマスターがゲーム機ガチャポンを起きました。百円玉を入れるとガチャポンが出て来て中を開けると「ハズレ」とか「三百円」とか「五千円」とかの券が入っていて、当たるとその金額をマスターが即払う。凄い人気で、東芝勤務のごりさん飲むのを忘れてゲーム機に没頭。「三千円」券が出て来た時は小踊り、でも二万円使っているんだよな。垂れ込みがあつて後日警察の人が二人来てマスターに聴取。マスター「外に用足しに行っている間、知らないうち誰かゲーム機置いて行つたんだ」と適當弁明、警察の人も苦笑い、ゲーム機を撤去して行きました。何でもありの緩い昭和の時代。

週末の満席の忙しい時間帯、マスター客の注文の肉を切つている時、包丁で人差し指を傷つけ出血。血止まらずマスター「中ちゃん、ちょっと病院へ行つて来る、あと頼む、二階からうちの呼んで手伝つてもらえ」と。

自分、二階にいる奥さんを呼んで接客、皿洗いを頼む。自分、お客様の酒の準備をしたり、注文の肉を切つたり。「ネギは湿ったのでなく乾燥したのをみじん切りにしてくれる」と注文の細か過ぎるモツちゃん。いつものレバー刺(肝臓)を注文。今は食禁法が厳しく、豚肉の生食が許されない時代。でもあの昭和の時代の人体頑丈なのかな、食当たりないのかな聞いた事も無い。自分、注文のレバー刺、肝臓の塊をまな板に乗せ上の繊維組織の細かい部分を包丁で切り、皿にちょっと多いかな、まついいか、事態が事態だし。別皿に乾燥したネギをみじん切りしたもの大量にサービス。注文の細か過ぎるモツちゃん「盛りがいいねえ」と初めて見せる笑顔。周りのお客さんも「俺に白モツ切つてくれる」とか注文のオンパレード。マスターも病院から戻つて来て「針縫つて來た」と。僕の切盛りした量の多い肉皿を見てマスターは苦笑。店は平常に。

後日、お客様によつて「今日はお兄ちゃんに肉切つてもらおうかな」と。マスターまたまた苦笑。仕事は面白く楽しかつたです。マスター「中ちゃん、東京へ行つて専門課程終わつて卒業したら店に戻つて来て、俺の仕事を手伝つてくれ」と。その時その言葉はありがたく嬉しかつたです。

マスターも常連のお客さんも個性的な人が多かつたです。仕事後はマスターはいつも通り店の酒をご馳走してくれ、飲むといつも昔の話。

青森にいた高校一年の頃、友達と川原で工事現場の発破(鉱山や土木工事で爆薬を仕掛け爆破する事、またこれに用いる火薬の類)を投げて遊んでいると、手元

が狂つて発破が友達に命中、即死粉微塵になり河北新報に載つたそうです。田舎に居られず家族を捨て夜逃げ。あてもなく熊谷に降り、兎に角働かないと思つていたとき、駅前の電柱に「急募住込。豚肉解体卸業」の張紙をみつけ、そこへ行き、隠さず全て事情を話して働く事になつたとの事。才能があつたのかマスターのみる腕をあげたそうです。その豚肉解体卸業の社長、熊谷で大地主、その1人娘に惚れられて入婿になり店を出したとのこと。マスターは酒が入ると「田舎の景色を見にいきたい、帰りたい」といつも言つていました。細身でにこにこ顔の優男のマスター、壮絶な過去のある事を知りました。



丸松物産株式会社
山形工場 上山市新北浦3番地
TEL 023-673-5511
<http://www.marumatsu-mb.co.jp>



ご商談・ご宴会に
二階宴会場をご利用下さい
石臼挽きそば 割り子そば
みつひろ
上山市新湯6-34
TEL. 672-3815

日本ビクター製・蓄音器の思い出

櫻井和敏
(上山市出身・山形在住)

終戦後に父が購入したのだろうか、我が家には蓄音器なるものがありました。それは全体がチョコレート色をした木製の箱型でした。上蓋が開閉できる仕組みになつており、その裏蓋には白い犬が蓄音器のラッパの前で不思議そうに聴いているロゴマークです。その画像はだいぶ後になって日本ビクター(現在はJVCケンウッド)に吸収合併され消滅の商標だったと分かりました。その犬の名『ニッパー』はイギリスの風景画家マーク・ヘンリー・バロウドの飼い犬でした。明治二十年にマークが病死し、弟の画家フランシス・バロウドがニッパー引き取り育てました。フランシスの家には蓄音器があり、マークの声が録音されていたそうです。

ニッパーをこよなく愛していた亡き飼い主の声が蓄音器から流れるといつもラッパの前に座つて不思議そうにのぞき込む姿をフランシスが描いたと言われます。その絵画が評判となりました。

その蓄音器の構造ですが、電気を一切使用しないので電動モーターはありません。音盤を回転させる動力は昔の柱時計のようにゼンマイ仕掛けを応用したものでした。箱の右横には一字型のハンドルが付いており、手で回してゼンマイを圧縮し、解れるエネルギーによりターン

テーブルを回転させる動力としたのです。その上にSP版という直径30cm位の音盤をセットし、針の付いたアームという部分を、手動で音盤の右端に静かに下すのでした。音盤には肉眼では見えないが、渦巻き状の溝が刻まれています。溝には上下左右に凹凸が施されており、針がなぞる振動を増幅させ、ラッパを通して空気の振動(音波)にして歌声や音樂を聞くという仕掛けになる訳です。なお、回転を速度を一定に保つガバナー機構も取り付けられています。音盤はシェラックという天然樹脂が主原料で分速78回転で、長時間音盤を回すと、ゼンマイが伸び切るので回転速度も落ちてしまいます。そうすると音が低くなってしまうので歌声は気が抜けたような声になるので笑いを誘うことがしばしばありました。そうなる前にハンドルを回しじんマイを巻いておく必要があります。した。SP版は堅く重いがひびが入つたり割れ

易いのが欠点でした。ひびが入るとその部分に針が『ブチッ、ブチッ』という雜音が入つたり、針が別の溝に移つてしまふと音が飛んでしまうこともよく有つたものでした。

家にはたくさんのSP版がありクラシック、ジャズ、流行歌(歌謡曲)、浪花節などを父が好んでよく聴いておりました。特に多かったのは流行歌で東海林太郎や上原敏、佐藤千夜子の歌などは私も聞いてよく覚えております。東海林太郎の『母いざこ』の歌にはアメリカ民謡『谷間のともしび』が挿入されていたのが強く印象に残っています。上原敏の『裏町人生』。本県鶴



◆おかげさまで売れてます!

ねんどらシリーズ

「猫の手マドレーヌ」「わんわんドーナツ」「じっぽフィナンシェ」

上山城登り口六七二一〇一六九

協賛していただける
スポンサー様を募集
しております。

文化的に潤いのある故郷づくりに、少しでも寄与出来たらという願いをこめて、2001年5月号より発行し続けております。

ご協賛頂けたら幸甚です。

ご連絡は

電話 090-3363-5978
FAX. 023-673-2023迄

ソフトクリーム
コーヒー
ヨーグルト

悪い酪農家

山川牧場

(有)蔵王マウンテンファーム
山形県上山市永野2191-23
TEL・FAX 023-679-2150



連載 四国遍路こぼれ話 第十六回

大貫和春
(上山市観光ボランティア)

「四国遍路こぼれ話」の最終回は十二月号に続いてお遍路に関する書籍を紹介します。一冊目は三好和義著の「空海と歩く四国遍路」です。この書籍は上巻が徳島・高知編、下巻が愛媛・香川編と二巻で構成されています。三好和義氏は写真家で、写真集「RAKUEN」が木村伊兵衛賞を最年少(当時)で受賞と略歴にありました。

第一番霊山寺から第八十八番大窪寺まで写真をメインに構成されていますが、「八十八カ所に息づく信仰のかたちを撮りたい」と思い、各札所のご本尊の撮影をお願いした。秘仏などで叶わない時はお前立ちや脇侍を撮影させていただいた」とあとが

きにありました。仏像の写真は迫力があり、土門拳氏の仏像写真を彷彿させました。本堂や山門の写真にしても正面から写すだけでなく、山門を通して本堂を撮影するなど芸術性を感じさせました。また、沈下橋を渡るお遍路や足摺岬近くの白い砂浜を歩くお遍路の写真などは見開きで掲載され、息を飲む臨場感がありました。

一方、札所の解説文も読み応えがあります。第三十三番雪蹊寺は鎌倉仏像の宝庫とか、第三十八番岩本寺は弘法大師ゆかりの七不思議などのエピソードが多数紹介され、お遍路をした時の状況が蘇りました。そのような縁起やエピソードを短期間でよく調査されたと思ったのですが、巻末を見ると文章執筆者には別人の名前があり納得しました。

二冊目は黛まだか著「奇跡の四国遍路」

のサンティアゴ巡礼道を、二〇〇一年から〇二年にかけて韓国のプサンからソウルまで、二〇一七年に四国遍路を踏破しました。著書の帯に書かれた紹介文には「ぼろきれのようになりながら歩き継ぎ、倒れ込むようにして到着した宿では懸命に日記を付け、俳句を詠んだ」とあります。私は一日の歩行距離を二十km前後に設定したので、宿には日暮れ前に到着していましたが、黛氏は三十km前後も歩いており、宿に到着するのはいつも日が落ちからでした。その結果第二十四番最御崎寺の手前で歩けなくなり接骨院に運ばれました。翌日には痛みが引いたので遍路

16



を再開しましたが、無理をしたことで勒帶の炎症が悪化し、友人の家で休養するめになりました。ただ、接骨院で抗生素の治療を受け、四日後には再開しました。遍路にとって、「止まる」ことは足を引き摺つて歩き続けるより難しいと述懐しています。

また、黛氏は「遍路での一期一会の出会いはそれぞれの無二の遍路を豊かに彩る。しかし先を急ぐあまり貴重な出会いを逃している人が多い」と書いているように「縁」も大事にしました。

第五十三番円明寺で、お守りにしてくださいと錦の納め札(百回以上巡拝したお遍

路だけが使用できる)を頂戴した時は、名前が「円(まどか)」なのでこれも何かの縁ですと偶然の重なりに感激していました。第五十四番延命寺手前のコンビニのベンチで高齢のおっちゃんと出会います。おっちゃんは生まれてすぐに母親が亡くなり、親戚に預けられますが「もういい子」といじめられたことや火葬場で働いて、二千三百体を送ったことなど身の上を語り始めました。おっちゃんと分かれた時は延命寺の門限まで一時間しかなく、八kmを懸命に走り続けたことで間に合い、小さな奇跡が起きたとありました。

「道は円を描きながら絆のようにまつ

すぐ進むが、種々の出会いが横糸のよう交わり、一つの遍路が織りあがっていく。一期一会、二つとない私の遍路だ」と書いています。

最後に情報学者西垣通氏との八十八の白熱した問答が掲載されていますが、話題が宗教から現代の若者像まで多岐に渡っています。

また、黛氏はNHKラジオ「日曜カルチャー」という番組で、サンティアゴ巡礼と四国遍路の違いや、黛氏にとつて歩くことは詩的行為ということなどを語っておられました。

山形県知事許可「高度管理医療機器等販売業許可証」取得店
最適な補聴器。プラビシモライト。



デジタル補聴器
耳掛型
“無料試聴
貸出”中!

耳あな型
片耳価格
138,000円
(ボリューム 148,000円(片耳・非課税)
ボンロール付 248,000円(両耳・非課税)

F*parc 佐藤
〒999-3143 上山市二日町9-1(矢来橋ギワ)
TEL.023-672-0207

いなげ花店



上山市矢来一丁目3-18
(かみのやま温泉駅前)
駅前本店 TEL.672-0157
FAX.672-6760
ヤマザワ店 TEL.673-1343

くだものうつわ
各種ご贈答にも最適



上山市金瓶水上6-2
Phone: 023-672-5861

ぶらぶらスケッチ日記

「趣味の『散歩』が楽しい」

竹内敏夫
(上山市在住)

私の一番の趣味は「絵」で、次は演劇・登山などです。

若い頃、或る先輩から趣味を持つにあたつて「多くの人とかかわる趣味」と、「自分独りでできる趣味」の双方をやつたほうがいい、と教えていただきました。

私は凡そ四十年間アマチュア劇団で演劇活動を続けてきましたが、夜の練習に仕事の都合で遅れてくる人がいると代役で練習しなければならない場合が度々ありました。そんなとき痛感しました。「演劇は人が揃わないと出来ない面倒な趣味だ」と。比べて、絵を描くなら自分ひとりで出来ます。

でも、演劇は年齢も職業も違う仲間が、侃々諤々と議論しあうところに魅

力があつたのです。今は活動停止してときどき酒を酌み交わす関係になっていますが、かつての芝居作り仲間は私の貴重な宝物です。

『四十の手習い』とは、「趣味はいくつになってから始めても遅くない」とい

う諺ですが、実は、私『七十の手習い』で始めたキッカケは上山市が「歩いて健康づくりしよう」と平成二年から始

めた事業です。参加者は貸与された活

動量計を、コンビニや公共施設の読取専用端末『あるこう！ かざすくん』にかざす、すると歩数が記録される事業なのです。毎日の歩いた歩数が即座に

見られるので張り合いが出て、飽きつけない私でも五年間ズーと継続できました。

この事業には「歩き方を学ぶ学習」が

あります。はじめのうちは（この歳で

歩き方を教わるの？）と思いました。と

ころが、健康医学を研究されておられ

る先生から、「歩く速さ」「歩幅」「踏み

込む足」「蹴るつま先」「腕の振り方」「姿勢」等々をわかりやすく解説していました。

だくうちに『目からうろこ』でした。健

康づくりにどう歩けば効果的か』を理

解できたのです。

先日、担当の保健師さんから上山市の「かみのやま健康ポイント」事業が厚生労働省とスポーツ庁主催の「健康寿命をのばそうアワード」で優秀賞を

受賞したとお聞きしました。※アワー

ド=賞、商品のこと(写真)

運動が苦手な私ですが、歩くことを続

けていて「いい風景が見えてくるよう

なったこと」も良か

つたです。以前、この「月刊かみのやま」の

表紙絵を担当しており市内の風景を紹介してゆこうと、取り組みました。そのためにはこの事業に参加したことが大変良かったのです。

事業が始まつてからの五年間に「月刊かみのやま」の表紙絵を描いた枚数

を改めて調べてみたら四十七作品でした。

そのうち早朝散歩で（描きたい！）と気付いて手掛けた風景が、二十四点もありました。

その一部を挙げますと、「クオルト雪の西山」「仙石の春」「鞍掛踏切」「蟹仙洞」「御井戸丁のサルスベリ」「新東宮橋」「春雨庵」「長生橋」「高等養護学校の畔」「中村利藏の栗川稻荷」「恋・花咲山・幸の鐘」「須川から見た泉川」「軽井沢横断歩道橋」などなど、歩いたからこ

そ観えた景色でした。

おわりに最近に観た、お気に入りの写真二枚を紹介します。



大切な家族の一員
だつたペットの
供養をいたします



納骨供養料
15,000円(納骨料・供養料)

葬儀のご相談も
承ります

※毎年9月の動物愛護
週間中の土・日に
供養会を行います

ほうらいいん
蓬莱院
上山市小穴42番地
TEL 023-673-2909

ワイヤーカット加工による金型部品加工
金型・治工具設計製作

有限会社
山上企画

〒999-3122 上山市仙石1263番地5号
TEL. (023) 673-1114 FAX. (023) 673-1115

有限会社
大崎金型

〒981-3604 宮城県黒川郡大衡村駒場字添右衛門橋3-162
TEL. (022) 345-5378 FAX. (022) 345-5378

「狸森物語」—戦後八十年の山村—を綴つて

佐藤 藤三郎
(著述業 農業)

令和七年にはマスコミなどの「昭和百年」だと「戦後八十年」といったことの企画が多くあつた。

YBCのテレビでもそれがあつたし、「文藝春秋」でもそれがあつた。その百年の百人に私が中学生のときの師である無着成恭先生が入っていた。それでその先生のことを書けという依頼が私にあつた。一人見開き二頁というのだから短いものだつた。

それとは直接関係ないが農業ジャーナリストの大野和興さんから戦後八十年の農業と農村の変貌とその未来について一冊の本を書けという勧めを受けた。

私は

そんな大それなことを書けない、と言つたのだったが、それに対し氏は学者やジャーナリストなどではない人つまり農村の現場にいる百姓がその本音と経験の本心を書けばと押しつけるように言つてくれた。それに対して私は「もう村を歩いたり、資料を集めたりする能力はもちろん体力が無くなっている、だが自分の身の回りのこと、さらに言えば住んでいる狸森のこと、そこで見て来たことや体験したこと、そんなことならば書けるであろうと言つて書くことにした。

戦後八十年、それを農山村の現場で体験し、そのことを文字にすることのできる人は亡くなり少なくなっている。だ

素直に言つてそれは私自身が誰かに問いたいし、それを書いてある本があるなら私は何冊も買いたいといつて大野さんを困らせたし、私も悩んだ。

「狸森」という「むら」にはいつから人が住んでいたか私は分からぬ。

黒森山の麓からは縄文土器が出土するからその時代にもここに人が住んでいたことは確かだ。といつても私の先祖はまさかその時代の人ではないであろうが、とにかく私が生きてきた「むら」が消滅しつつある。その理由はグローバリズムによりこの国の繁栄と豊かさの裏面であることはよく分かる。自然の資源で生きているのではなく原子力での生活?で潤った暮らしをしているのだから。なのに人は村を去つていく。若者たちの「労働力」がトヨタやニッサンへと吸収されている。そしてそれが狸森といった山間の村からだけではなくて平場の農村からもだ。よつて山形県の人口がすでに百万人を割っている。さらに言えば百姓をやつているのは七十歳代の人が一番多い。ともすると狸森

から、是非と大野さんは私にその目を向け勧めてくれたのだった。そう言われてみれば、九州の山下惣一さんや高畠の星寛治さんはすぐれた百姓であり文筆の達人であつたが逝去されている。お二方共、私とは同輩だ。

私は九十歳になった。終戦のときには十歳だから「戦後の体験は確実ではないがうすらと頭に残つていて。だから「戦後」のことは資料を見たり、調べたりしてではなくて自分で体験したことならば、といって書いてみると自分の目で見聞したことをじぶんの言葉で綴つた。だから中学生が書いた作文のようなものでしかないがなんとか一冊の本になるものにまとめあげた。まだ本が出来てないので仮題だがそれを「狸森物語」とした。大野さんと出版社（社会評論社）と相談して、もつといい書名があればそのようになるが、まずはそんな内容の本だ。

それにしても「狸森」の過去を書くことは容易でなかつたが、未来を書くには頭を痛めた。狸森（山元地区）は消滅しつつある。その状況を書くことは難しくはなかつたが、大野さんと出版社は、そうした状況の中で狸森の未来を明るく書けというのには悩まされた。

「そんなことが分かるものか」と突っぱねようと思つたが、「それが無ければ本は売れない」というわけだ（笑）。

と訴えたつもりだ。

だけではなくてこの国の百姓がいなくなるのではないかと心が病む。

そんなこと先が長くない私にとってはどうでもよいのが、そのことを都市に住む若い人たちには本気で考へてもらわねば、と書き進めるなかで思った。

過日、長井市の百姓菅野さんは「令和の百姓一揆」というのを行なつた。その時「一揆とはなにか」と私は氏に聞いた。その返答に私は頷いた。「農業がこのまま進めば百姓をする人がいなくなるぞ」と国民の皆に知らしめ、訴え考えさせることだ」と言つた。そして「互いにその在りようを学び合い、手を繋いで活動し、食を守るために田圃を荒らさないようにしてることだ」というのが氏の答弁だつた。そしてこのたび私が出版する本がその活動にいささかでも役立ててもらえば、とは思つたが上手くは纏めることができなかつた。でもこの課題は国民みんなが取り組んで欲しいことだない」というわけだ（笑）。ない」というわけだ（笑）。

「月刊かみのやま」は、来る3月末に発行を予定しております通巻300号（4月号）にて終刊号を迎えます。そこで、私たち有志（実行委員会）は、これまでの阿部檀发行人、並びに岩井哲編集人両氏の二十五年間に及ぶ労を讃え、ささやかな宴の開催を企画しているところです。四月十二日（日）月岡ホテルに執

筆者、スポンサー各位、読者が一堂に会し、いつとくわが上山の文化について語り合う機会にできれば望外の喜びもあります。詳細は後日お示し致しますが、多くのご参加を望んでおります。

「月刊かみのやま」300号記念打ち上げ祝賀会

実行委員会 委員長・鎌上宏

上山市観光課 〇一三(六七〇)一一一
上山市觀光物産協会 〇三(六七〇)〇八三九
かみのやま温泉旅館協会 〇三(六七〇)一四五六
上山市立図書館 〇三(六七〇)〇八五〇

抗がん剤治療でお悩みのあなたへ

医療用ウィッグの購入支援及び助成金が受けられます。

美容室 Chou chou シュシュ
<http://chouchou6736030.blog.fc2.com>
 上山市矢来4-8-1 ☎ 673-6030

進和ラベル印刷 株式会社
 〒999-3104 上山市蔵王の森10番地
 TEL (023) 672-7577

東京駅 5分、家族経営の温かな料理店

上山中学校昭和40年度卒業
上山小学校昭和37年度卒業
さて、誰でしょう？
変な頭が特徴です。

中央区日本橋2-2-15 日本橋ティートビル2階
 ☎ 03-3274-1797 上京の折、ぜひご来店ください。

栗川稻荷神社

上山市松山一ー一五二鎮座
 社務所 ☎ 〇三(六七〇)三五〇〇

由緒沿革
 栗川稻荷神社は備中國庭瀬の城主
 松平信通公が城中守護神として奉祠
 され厚く信仰されてきたお社であります。
 元禄十九年九月出羽国上山に国替を命ぜられ、その後松平家の守護神として城内に社殿を造り固い信仰を持ったのであります。現在地の松山高台に勧請鎮座を致し、年を重ねる毎に県内外はもちろん県外よりの多くの参拝者を迎えるようになりました。

月刊『かみのやま』第297号 発行日 2026年1月1日
 編集・制作/有限会社スタジオ・ワン 発行/上山を元気にする会
 〒999-3145 上山市河崎2-4-23 ☎ 090-3363-5978 FAX:023-673-2023
 発行人/阿部檀 編集人/岩井哲 題字/故木村藏六 編集協力/鎌上宏

吉風お年玉プレゼント迎春

日頃のご愛顧に感謝の気持ちを込めて下記の4店舗より1,000円の食事券を抽選で20名様にプレゼントさせていただきます。

- 応募締切 令和8年1月13日(火)まで
- 応募方法 ハガキに住所・氏名・年齢・電話をご記入の上
 〒999-3145 上山市河崎2-4-23 (有)スタジオ・ワン
 「月刊かみのやま」お年玉プレゼント係まで

明日のそばを語る会

みそのそばや

上山市石崎 1-4-19

そば処 一 体

上山市鶴脛町 2-12-5

そば処 さかえや

上山市十日町 10-28

湯薫庵 味津肥盧

上山市新湯 6-34 (新湯足湯向かい)

今年もよろしく
お年玉プレゼント
ありがとうございます



メンマの名付け親

丸松物産株式会社

山形工場 山形県上山市新北浦3番地 TEL:023-673-5511
 東京本社 東京都世田谷区代田1-47-2 TEL:03-3419-1611
<http://www.marumatsu-mb.co.jp>



こんにやく番所

懐石料理 お土産 カフェ
ギフトも承っております



公式HP

橋下宿 舟野こんにやく

〒999-3224
山形県上山市皆沢諏訪前608-1
TEL 023-674-2351
FAX 023-674-2515

<http://www.tannokonnyaku.co.jp>

なつかしい和（なごみ）の空間

かみのやま温泉葉山 美しき夢
さいかてい

△時代屋
じだいや

☎ (023) 672-2451

<http://saikatei-jidaiya.jp>

上山温泉・葉山

名月荘 MEIGETUSOU

〒999-3242 上山市葉山5-50

TEL. 023-672-0330(代表)

フリーダイヤル 0120-72-0330

月岡城址の宿

山形県かみのやま温泉



山形県 かみのやま温泉

△仙溪園月岡ホテル

〒999-3141 山形県上山市新湯1-33

TEL. 023-672-1212(代)

かみのやま温泉 葉山

はたごの心
橋本屋

電話 023-672-0295

FAX 023-672-0425

ホームページ <http://www.hashimotoya.com>